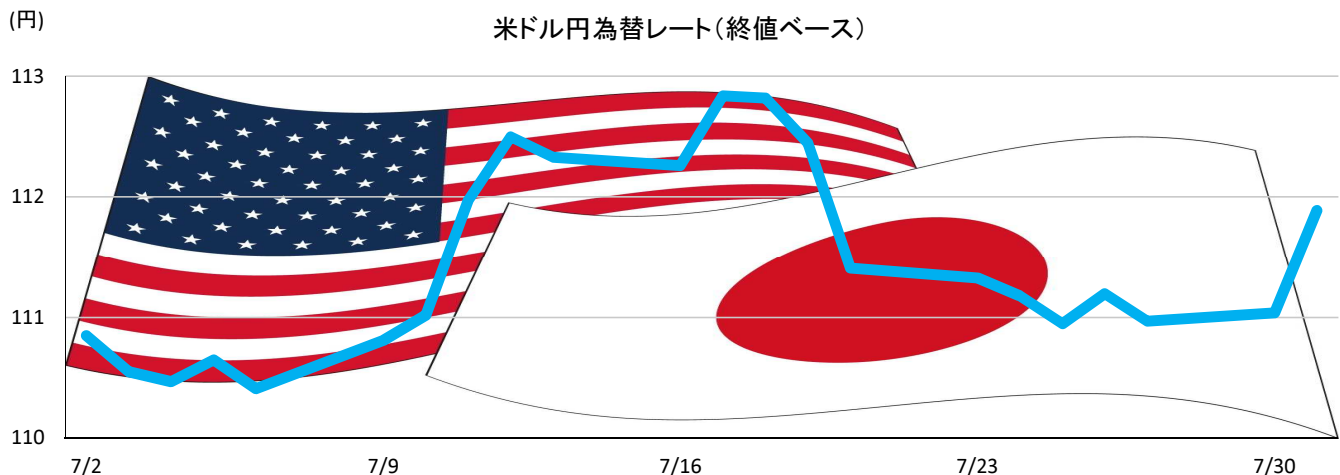


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 7月のドル円相場は110円前半～113円前半で推移。米中貿易問題が主な材料で、対中制裁リストが公表されると中国が即座に対応措置を発表するなど攻防が激化していたが、いったん材料が出尽くしムードから、リスク選好のドル買いとなり112円台まで駆け上がった。その後、パウエルFRB議長が議会証言で政策金利の引き上げ継続を示したことで、年初以来の113円台を達成した。ただトランプ大統領が米金利上昇は好ましくない、ドル高は我々に不利益を与える、などと発言したことで、流れが一転。さらに中国やEUは為替を操作して金利を低くしているとツイートしたことでドルは全面安となった。その後は再びこう着状態の相場となったが、日銀金融政策決定会合で異次元緩和を継続姿勢を示したことで再び円安方向の流れとなった。



## EXTRA VISION

**今後の展開:** 米中貿易問題から世界貿易戦争への流れが出来つつある中、依然として貿易戦争懸念のドル売りと金利差拡大によるドル買いの攻防が続いている。どちらかという金利差によるドル買いが優勢の流れだとは思われるが、急激なドル高に嫌悪感を持っているトランプ大統領の発言もあり、上値は抑制されている。さらにここに来てトルコやイランの問題がマーケットに影響を与えてきており、短期的にリスク回避の円買いが進行しやすい状況となっている。短期の動きに惑わされないポジションの取り方が必要となってくるだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
8 / 23 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
8 / 29 (水)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
9 / 7 (金)	18 : 00	EU	欧州GDP確定値	☆☆☆☆
9 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
9 / 13 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利発表	☆☆☆☆
9 / 13 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
9 / 18 (火)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。